



め ず ら 梅 豆 羅



令和8年4月22日
浜玉中学校通信 No.2
校長 吉村 典浩

《学校教育目標》「好き」を育て、「良さ」を伸ばす
《目指す生徒像》新たな時代を切り開く生徒の育成

桜の花が散り、新緑の季節になりました。浜玉中では朝から元気な生徒の挨拶の音が響いています。

第60回入学式

4月10日に多数の来賓の皆様に見守られながら112名の新1年生が入学してきました。入学して2週間ほどたちました。慣れない中学校生活に戸惑う場面もありますが、毎時間



入学式会場



入学式後、初めての学活

先生が変わる中学校の授業も本格的に始まりました。まだ、特別教室の場所がわからず廊下で先生方に「〇〇教室はどこですか？」と尋ねている生徒もいます。先輩や先生方の力を借りて中学生らしくふるまいながら少しずつ中学生らしさを身につけていくことでしょう。

安全な自転車の乗り方について

4月の全校集会では、安全な自転車の乗り方についての話をしました。

4月から自転車の乗り方の違反への罰則が強化されました。例えばスマホを見ながら運転することや横に2台3台と並んで走行することなどの、中学生がしそうな乗り方も罰則の対象となっています。「違反だから、罰則があるからしないようにしよう」ではなく、大事なことは「自転車に乗っている生徒がケガをしない・事故にあわない」「周りの人にケガをさせない・事故をおこさない」ことです。事故にあわない・事故をおこさない安全な自転車の乗り方についてご家庭でも話題にいただけるとありがたいです。

前任校で、登校中に曲がり角でタイヤが滑って転倒した生徒がいました。転んだ時に頭を打っていたので病院を受診しましたが、ヘルメットをきちんとかぶっていたので外傷はなく結果的に大事にはいたりませんでした。その子のヘルメットには転倒した時の傷が残っていました。ヘルメットをかぶっていなかったらどれほどのケガを負っていたのだろう？と思うとゾッとしました。

暑くなってきてヘルメットをかぶっていなかったり、ヘルメットのあごひもを留めずに頭にのせただけだったりの生徒を時々見かけます。事故にあったときにあごひもを留めていなければ、ヘルメットは先に飛んでいき、頭を守ってはくれません。ヘルメットをかぶっていなければ完全に無防備です。右上のイラストのように、正しくヘルメットをかぶって安全に登下校してほしいと生徒に話しました。



あごひも
正しく留める

部活動への入部

1年生の体験入部期間が終わり、正式入部となりました。体験入部期間には各部とも一人でも多く入部してほしいと、見せ方や活動に工夫を凝らしていたようです。敢えていつも通りの活動を見せたり体験させたりした部もあったことでしょう。右の写真は吹奏楽部が昼休みに開催した「ウェルカムコンサート」の様子です。さて、今年は何の部活動に多くの生徒が入部したのでしょうか？



ウェルカムコンサート